

令和5年8月定例会会議録

(令和5年8月30日)

八代市教育委員会

八代市教育委員会 8 月定例会会議録

- 【開催日】 令和5年8月30日（水）
- 【場所】 八代市役所4階 403会議室
- 【出席者】 北岡 博 教育長
渡邊 裕一 教育委員
奥村 留美子 教育委員
早田 蛭 教育委員
澤村 互寛 教育委員
- 【出席職員】 中 勇 二 教育部長
松川 由美 教育部次長
田中 智樹 教育部次長
下津 恵美 教育政策課長
田北 佳一郎 学校教育課長
稲本 健一 教育部理事兼教育施設課長
高崎 博文 生涯学習課長
櫻井 幸枝 教育サポートセンター所長
上角 愛美子 博物館未来の森ミュージアム副館長
山崎 撰 博物館未来の森ミュージアム副館長補佐兼学芸係長
松下 健二 文化振興課長補佐
緒方 義久 教育政策課主幹兼ICT教育推進係長
中松 大輔 教育政策課主幹兼学校給食係長
黒木 崇博 学校教育課指導主事兼指導係長
星田 章広 学校教育課指導主事兼保健体育係長
久保 昌代 博物館未来の森ミュージアム主幹兼管理係長
奥村 貴士 文化振興課文化財係長
陣内 敬貴 教育政策課ICT教育推進係指導主事
瀧川 尚樹 学校教育課指導係指導主事
有働 有里子 学校教育課指導係指導主事
渡瀬 洋 学校教育課保健体育係指導主事
森田 恭代 学校教育課教育支援係指導主事
- 【事務局】 萩本 誠子 教育政策課教育政策係長
松本 和美 教育政策課上席参事
- 【審議事項】 <議案案件>
① 八市教委議第20号 八代市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱又は任命について

<協議案件>

- ① 協議第3号 令和5年度教育振興基本計画の進行管理及び点検・評価について

<報告案件>

- ① 報告第14号 令和5年度6月補正予算の概要について
② 報告第15号 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

1. 開会 (午前8時59分 開会)
2. 会議録の承認 令和5年4月定例会、5月定例会
3. 教育長報告 前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものの報告については、今回はなし。
4. 議題
- 北岡教育長 報告第15号 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果については、適切な審議環境を確保することから、秘密会にすることを提案する。
- 教育委員 全員異議なし
- 北岡教育長 報告第15号 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果については、八代市教育委員会会議規則第5条に基づき秘密会とする。
- 北岡教育長 本日の議事の進め方について、協議第3号 令和5年度教育振興基本計画の進行管理及び点検・評価については、時間を要するため、まず、八市教委議第20号 八代市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱又は任命についての審議後、報告第14号 令和5年度6月補正予算の概要についての審議を行う。その後、議事を一旦中断し、各課かい及び事務局からの連絡事項に移る。そして、議事に戻り、協議第3号 令和5年度教育振興基本計画の進行管理及び点検・評価について協議を行う。最後に、秘密会と決した報告第15号 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果についての審議を行いたい。

<八市教委議第20号> 八代市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱又は任命について

田北学校教育課長 現在委嘱している八代市いじめ問題対策連絡協議会委員の任期満了に伴い、新たに委員を委嘱する。任期は、令和5年8月30日から令和7年8月29日までとする。

質問等なし

【八市教委議第20号 承認】

〈報告第14号〉 令和5年度6月補正予算の概要について

松川教育部次長 6月定例市議会にて議決されたものについて、資料により説明

- ・ 6月補正予算第3号分
 - 中学校部活動整備事業
 - (仮称) 新南部学校給食センター施設整備事業
 - 学校給食費負担軽減事業 (重点交付金)
 - 自治総合センターコミュニティ助成事業
 - 自治公民館整備補助金事業
 - 図書館管理運営事業
- ・ 6月補正予算第4号分
 - 公立学校施設災害復旧事業

質問等なし。

(議事一時中断)

5. 連絡事項

学校教育課 始業式 (8/25)
運動会 (9/9~)
熱中症予防について

教育施設課 ボランティア活動報告 (8/24 9/2)

生涯学習課 熊本県社会教育研究大会・熊本県公民館大会
合同大会 (9/29)

教育サポートセンター トワイライトセミナーについて、
くま川教室の開級式について

博物館 夏の特別展覧会 (8/27 まで)
やつしろ美術動物園開催中 (10月まで)

事務局 9月定例会日程確認 (9/27 14:00~)

(議事再開)

〈協議第3号〉 令和5年度教育振興基本計画の進行管理及び点検・評価について

下津教育政策課長 資料により、点検・評価実施方法等について説明

●基本方針6 9年間を見通した「八代型小・中一貫・連携教育」の推進

田北学校教育課長 点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明

渡邊教育委員 成果指標項目にあるアンケートの実施方法はどのようになっているか。

有働学校教育課指導係指導主事 小学6年生全児童を対象に調査を実施している。2年前までは、各学校1クラスを抽出して調査を行っていたが、タブレット端末導入に伴い、昨年度から全児童に対しウェブでの調査が可能となった。

早田教育委員 保護者として、自分の子供の9年間を見通せているか、中学校と繋がっているかと問われると、今のところ全く実感がないが、学校においては、色々な取組をされていることに改めて気付かされた。子供たちの実感としてのデータはあるが、はたして保護者はどのように感じているだろうか。仕事の成果を報告書として外部に公表する際は、自己満足で終わらないよう、評価の裏付けとなるものが必要だと思う。

黒木学校教育課指導主事兼指導係長 保護者等からの意見を評価に取り入れることについて、今後検討していきたい。

奥村教育委員 現在活用されている連携カリキュラムはどのようなものなのか。この連携カリキュラムについては、見直し、改善も必要であるとのことだが、今後、どのように小・中学校を繋いでいけば、小中一貫・連携教育が具体的なものになると考えているか。

有働学校教育課指導係指導主事 四中校区の例を挙げると、子供の生活習慣「挨拶・返事・話す・聞く」等については、就学前から中学校までを含めた連携カリキュラムが作成されている。宮地小学校と第八中学校においては、総合学習の時間を共通、連携して実践するなど、小学校から中学校に繋がる一貫した取組が行われている。

一貫教育の視点から、どこに行っても、同じように学習が継続できるよう、各教科や生徒指導面においても、教師と子供たちと一緒に作成していきましようとお願ひしている。

●基本方針1 幼児教育の充実

田北学校教育課長 点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明

奥村教育委員 各幼稚園においては、「幼児期までに育てほしい姿」について、明確に取り組まれていると思うが、これを小学校とどのように共有していくかが重要であると考え。幼稚園や保育園との定期的な話し合いの場は設けているのか。

有働学校教育課指導係指導主事 八代教育事務所を中心とした一体的な研修が、年に1回実施されている。また、今年度は、熊本県から2年間の事業委託を受け、幼児教育の施設類型にかかわらず、小学校と一体的に幼児教育を推進する体制作りを活用し、幼児教育の質向上の強化に係る研究事業を行うこととしている。9月補正にて予算を確保し、2学期以降、研修の機会を設けていきたいと考えている。

渡邊教育委員 スタートカリキュラム等を小学校と共有した幼稚園の割合が、令和2年度から令和4年度において50%しかないが、改善しない理由は何か。

有働学校教育課指導係指導主事 幼稚園6園に聞き取りを行ったところ、共有が十分にできていない理由として、保育園、こども園など横の連携が十分にできていないという声や、小学校へは、「幼児期の終わりにまでに育てほしい姿」やスタートカリキュラムを提供することまではできるが、その後の話し合いの機会が十分に取れていないとの回答があった。

渡邊教育委員 共有が十分にできていると判断している幼稚園が3園あるので、幼稚園長会のなかで情報交換を行い、100%に近づけるように頑張っていただきたい。

田北学校教育課長 幼稚園から小学校に対し、幼児教育における課題等について、十分に時間をかけて話し合う機会を求めている。小学校入学時には、連携会議、情報交換の時間は確実に確保できているが、それ以降は、まとまった時間の確保が困難な状況である。小学校においては年間計画を立てているなかで、急な時間の確

保は困難なため、必要であれば前年度中に依頼をしておくよう指導している。

●基本方針2 確かな学力の育成

田北学校教育課長 点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明

奥村教育委員 英検3級相当の取得率の低下や受験者数の減少について、どのように分析しているか。

キャリアパスポートについては、とてもいい取組だと思う。今後は、子供たちの自己理解やキャリア形成のために、効果的に活用していくことになると思うが、子供たちが記録すると同時に、身近な教師や保護者にも是非見てもらい、子供の変容を共有していただきたい。現状、他者からの目というものは活かされているか。

瀧川学校教育課指導係指導主事

英語検定の受験率については、令和3年度が52.6%、令和4年度が40%で、本市においては、完全に本人意思による受験となっている。他の自治体では中学3年生の2学期に、生徒全員が受験する学校もある。未受験の理由としては、「英語が好きではない」「苦手」「英語自体に興味が無い」「興味はあるが一步踏み出せない」「申し込みをうっかり忘れていた」などがあるが、英語を好きになる、興味をもってもらうためには、普段の英語の授業が大きく影響してくると思うので、中学校教諭を対象に、英語の指導力向上研修を昨年度より実施している。

また、興味はある、受けようと思っていたが機会を逃した、申し込みを忘れていたという生徒への対応として、夏休み前に、第2回英語検定受験の意思確認調査を、全中学校生徒に実施した。そこで、受験者数が少ない学校に対しては、第1回の英語検定において受験者数が多かった学校の取組内容を伝え、生徒への呼びかけの強化をお願いしており、今年度受験者数が向上することを期待している。

英検3級相当の取得率については、令和3年度が23.6%、取得はしていないが相当の力を有すると思われる生徒が約8%で、合計で約31%であった。令和4年度は、取得率20%、相当の力を有すると思われる生徒が約12%で、合計32%となっている。事前の調査により、力を有しているが、受験する意思のない生徒が全体で21名いることが判明したので、個別の声かけについて学校へお願いしており、そういった

生徒が受験し3級相当を取得することで、少しでも英語に興味を持ち、自信に繋がればよいと思っている。

黒木学校教育課指導主事兼指導係長

キャリアパスポートについては、新規に作成するものではなく、これまで各学校で作成してきた、年間あるいは学期ごとの目標等を記録し、ファイルで保存していくものである。よって、転校時や小学校から中学校への進学時にも持って行くことになるが、その活用方法は各学校各クラスで差があると思われるので、研修会等を通して共通理解を図っていきたい。

奥村教育委員

いい形で活用してほしいが、やはり、大人の目、支援等をどう絡めていくかが大事だと考えるので、活用推進についてアドバイスを願います。

渡邊教育委員

英検に関して、学校から生徒への呼びかけが不足していたとの分析についてはその通りで、そこが一番大事であると思う。英語教諭の考えにぶれがあると、生徒たちへ影響を及ぼす。英語教育の推進、英検の補助については、本市の施策なので、英語教諭に対し、教育委員会としての思いをしっかりと伝え、情熱を持って生徒たちに伝えてほしいと願っている。

早田教育委員

英語検定の位置づけについて調べてみると、最近では、進学等にとっても有利であることがわかった。自分の学生時代においては、英検は主流ではなかったため、同じような認識を持つ保護者も多いのではないかと。補助制度の周知と併せて、将来を見据えてのメリットについても提示しながら声かけをすると、受験率や取得率の向上に繋がるのではないかと。思う。

奥村教育委員

日本では、英語を知らなくても困る人は少ないが、諸外国を見ると、流暢ではなくとも、英語を話す人は多い。それくらい、暮らしと英語の関わりは大きくなっている。英語検定の周知だけでなく、英語の立ち位置を整理し、そのことを生徒に丁寧に伝えてほしい。他の自治体では、英語検定受験を必須としているところもある。本市は、補助制度を活用し、英語教育を充実させようという期待をしつつ、受験は生徒の自由意思に任せているということに、とてもジレンマがある。生徒に受験する気持ちになってもらう、保護者にも重要性をわかってもらうためには、もう少し工夫が必要だと感じる。

●基本方針8 学びを支える教育環境の整備

田北学校教育課長 点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明
下津教育政策課長

奥村教育委員 学習支援ソフト、スタディサプリについては、朝課外や家庭学習等で幅広い学習機会を提供しているとのこと、とても好ましいと思うが、今後の更新時には、同様のソフトを購入、利用できるのか。また、記述式はあるか。

陣内教育政策課 I スタディサプリについては、令和6年度まで予算の確保ができてい
CT教育推進係指 ている。それ以降については現在、学校教育課と一緒に、E
導主事 d T e c h 推進会議において協議中であるため、詳細については差し控えたい。スタディサプリに限らず、記述式に関しては、ICT機能を使い採点をすることは困難であるが、AI技術の進化により、企業においては、記述式に対応できるよう、アプリの充実、進歩を図っている、それを期待している。
また、選択式についても、効果的な活用ができてい
る学校もあるので、そのような好事例を全体的に周知している。

奥村教育委員 学校情報化優良校の認定については100%を達成したとのことだが、これは、日本全国的に取り組んでいることか。

陣内教育政策課 I J A E T、日本教育工学協会において認定しているもの。全
CT教育推進係指 国的な取組ではないが、熊本県が学校情報化先進地域認定
導主事 100%を目標としているため、本市においても県に準じて取り組んでおり、ある程度のレベルにはあると認識している。

渡邊教育委員 学校支援職員配置事業が始まってちょうど20年になるが、支援職員の数は年々増えてきており、大変努力されていると思う。支援職員数は124名で、高止まりしている時期かと思うが、学校教職員が不足し定員に満たない学校があるなか、本市がこれだけ多くの支援職員を配置できていることは素晴らしい。しかし、学校にとっては人的サポートが何より必要であるため、更なる支援職員の増員についても検討いただきたい。

田北学校教育課長 不登校児童生徒数が500名を超え、また別室登校ケースも増加するなか、別室又はオンラインによる家庭での学習を計画的に行えば、登校扱いにできるというシステムを昨年度から取り入れている。しかし、それに対応する教職員の人員が不足する状況となっているため、現在、中学校のみの配置となっている生徒指導支援員について、小学校も含めて支援員の拡充を考

えている。そのためには予算の確保も必要となることから、人事課等と協議を行いながら、現在、最大の課題である不登校問題について対応していきたいと考えている。

奥村教育委員 学校における支援職員の存在はとても大きい。支援職員と担任等との話し合いの機会はとても大事だと思うので、適切な支援職員の配置と併せ、話し合いの時間を確保するためにも、勤務時間の配慮を願いたい。

田北学校教育課長 支援職員が記入する日誌等で、気付きや情報を学校と共有しているが、打ち合わせの時間を確保することは、勤務時間の都合で、現状困難な状況である。

早田教育委員 八代市学校・子ども教育応援基金については、直接子供たちに繋がるような、学校独自で使える事業に活用していただきたい。

●基本方針4 健やかな体の育成

田北学校教育課長 点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明
下津教育政策課長

奥村教育委員 学校給食の充実については、給食センターと連携しながら、今後も推進していただきたい。
アレルギー対応については、年々対応が困難な状況になっていると思われるが、事故等の報告はあがっていないか。

中松教育政策課主 事故報告はないが、アレルギー対応食を、誤って普通食に混
幹兼学校給食係長 入しそうになった例はあった。

奥村教育委員 子供たちの体力向上のために、体育の授業が果たす役割には
どういう期待があるか。一日の活力の根幹となる体力づくりに
関して、現在の体育の授業の傾向はどのようになっているか。

星田学校教育課指 全国体力・運動能力・運動習慣等調査においては、概ね全国
導主事兼保健体育 平均を上回っており、下回った種目についても全国平均との差
係長 は小さかった。体力テストに関しては、調査対象である小学5
年生及び中学2年生の合計得点において、全て全国平均を上回
っている。しかし、日本全体が、10年前と比較すると低下傾
向にあるため、学校内における子供たちの体力の低下には、教

師も危機感を持っている。

体育の授業においても、ICTを導入し活用しているが、そこに時間をかけすぎて運動量が落ちないように、単元を通して運動量の確保をするよう指導している。

小学校では、運動部活動の社会体育への移行に伴い、部活動における体力向上が望めなくなったという声を聞くため、体育の授業を中心とした学校体育の中で、子供たちの体力を見つめ直す取組、教科保健体育と学校体育をきちんとすみ分けて考えるよう伝えている。

渡邊教育委員 本市の給食調理室のエアコン設置状況はどうなっているか。

中松教育政策課主幹兼学校給食係長 14カ所の給食調理場のうち、エアコン未設置は9カ所となっており、スポット式エアコンで対応している。

早田教育委員 給食と運動面においては、栄養バランスの取れた毎日の給食、体育の授業等での運動のおかげで、学校に通うことで子供が成長していると日々感じており、本当に感謝している。

中学校部活動については、今後外部への移行が進んでいくとのことだが、外部指導員については、やはり不安を感じる部分もある。現在、クラブチームとして団体活動をされていて、普段から子供たちとの関わりがあるなど、安心して子供を任せられるところをお願いしたい。

奥村教育委員 う歯未処置保有率について、全国平均を約7パーセント上回っている状況をどのように捉えているか。また、本市のう歯予防策の現状はどのようになっているか。

渡瀬学校教育課保健体育係指導主事 う歯未処置保有率については、熊本県全体としても全国的に高いが、年々減少しており、全国との差も縮まってきている。予防策としては、担任による歯磨き指導だけではなく、歯科衛生士によるブラッシング指導や、フッ化物洗口も進めているところである。

●基本方針9 安全・安心な学校づくりの推進

田北学校教育課長
稲本教育部理事兼
教育施設課長
下津教育政策課長 点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明

早田教育委員 安全教育・防災教育の推進について、「くまもとマイタイムライン」の作成が全て終了したことは大変素晴らしいが、作成することが目的ではない。防災を考えるきっかけとし、災害からどのように命を守っていくかを考えなければいけない。それには、見直しも必要であるし、警戒レベルの意味やハザードマップの見方等、細かいところまで考える必要がある。そこには、先生方が知識を付けることが大事であるため、先生方への教育も進めていただきたい。

八代河川国道事務所と連携した防災教育についても、被災した市として、防災教育の道筋を作り、継続して行っていきたいと考えている。

奥村教育委員 学校における諸計画の集大成として作られている学校経営案の中でも、防災教育は大きく位置付けられている。安全計画が日常化するよう、是非継続的な周知、指導を行っていただきたい。

学校・幼稚園施設の突発的な機器の故障や建具等の不具合について、235件の修繕を行ったとのことだが、外壁点検やトイレの洋便器化などの大規模改修以外にも、配管や手すりの錆など子供たちの怪我を心配するものもある。235件の修繕内容には、そういったものも含まれているか。

稲本教育部理事兼教育施設課長 今回の235件の修繕については、学校からの要望に基づくものとなっており、細かい部分までは対応ができていない状況である。今後は、予算拡充に努めていきたいと考えているが、なかなか困難な状況である。

渡邊教育委員 給食センターの再編整備について、昨年度はA評価となり、順調に進んでいると思うが、今年度の進捗状況はどうなっているか。

中松教育政策課主任兼学校給食係長 令和5年6月補正予算にて、不動産鑑定料、用地測量業務委託等の用地買収関連費用やDB事業者の公募、選定等に係る事務支援業務委託料等、合計約2,800万円を計上した。

現在、DB事業者の公募、選定に係る支援業務委託事業者を公募しており、9月中に決定し、今年度中に施設のモデルプランを作成する予定となっている。

〈休憩〉

議事再開（午前 11 時 22 分）

●基本方針 17 歴史文化遺産の保存継承と活用

松下文化振興課長
補佐 点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明

奥村教育委員 歴史や文化を継承する担い手として、東陽中学校の生徒が多く活躍されていることをうれしく思う。他の地域にも活動が派生していくよう、これから展開していただきたい。他の地域で歴史文化遺産を活かしたガイドを育成する具体的構想はあるか。

奥村文化振興課文
化財係長 具体的な構想はないが、妙見祭のガイドを学生主体でやっていくという話を以前聞いたことがある。

奥村教育委員 支援をお願いする。

渡邊教育委員 東陽中学校の学生ボランティアガイドは、大変素晴らしい取組だと思う。文化振興課として、当該中学校にどのように関わっているか。

奥村文化振興課文
化財係長 文化振興課は、八代市日本遺産活用協議会の事務局となっているが、本協議会が主催となり、石をモチーフとしたアイデアを募集するなど、石工の郷八代プロジェクトという取組がある。中学生ボランティアガイドが必要とするユニホームや備品等の整備に対して、このプロジェクトを活用して支援を行った。また、ガイドをするに当たっての出前講座を、昨年、中学生を対象に実施した。

奥村教育委員 出前講座・史跡めぐりの参加者数が、令和4年度は939名となっている。子供たちが関心を持つきっかけ作りとして、このような講座は大事だと思うが、参加者のうち、子供の占める割合はどれくらいになっているか。

奥村文化振興課文
化財係長 具体的な人数は把握できていないが、参加者の約7割から8割は大人であったかと思う。この参加者数には、小学校への出前講座における参加人数も含まれている。

●基本方針3 豊かな心の育成

田北学校教育課長 点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明
櫻井教育サポート
センター所長

奥村教育委員 不登校問題に対応した支援の充実について、各学校でしっかりと対応をされているので、学校教育課の評価はA評価でいいと思うが、新規不登校児童生徒数が増加していることを考えると、実態は本当に厳しいのだなと改めて感じた。

この問題に関わる他の関係者の代表的なものが、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーだと思うが、両者と学校との協議、情報交換の現状について、教育委員会としてどのように把握されているか。

瀧川学校教育課指導係指導主事 学校とスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの情報交換・共有については、各学校行えているが、スクールソーシャルワーカーについては、多い時には100件近くの案件を抱える状況である。両者共に、記録等で学校に情報提供されることが多いが、記録に記入できないものは、直接口頭により情報共有をされている。学校からは、両者からの情報がとても生徒支援に役立っているが、口頭による情報共有の時間が確保できないことが悩みであると聞いている。

奥村教育委員 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの関わりが非常に効果的であることは、担任や保護者にとっても安心できるものであろう。その活用については、学校に1人、せめて小・中学校に1人とするなど、常駐的なポジションとしての配置を願う。

渡邊教育委員 不登校問題対策は本当に難しいものであるし、今後新たな対策も必要となってくると思われる。別室・保健室登校をしている子供たちが増加するなか、他の自治体で設置されている校内支援センターについて、本市においては設置を検討されているか。

田北学校教育課長 残念ながら、現時点において、校内支援センターの設置計画はない。まずは、生徒指導支援員の役割を見直し、更に増員を図ることで、不登校の児童生徒にしっかり寄り添いサポートができるようにしていきたいと考えている。

渡邊教育委員 生徒指導支援員の拡充も一つの方法だと思うが、新たな不登校対策として、生徒指導支援員をバージョンアップしたような支援員についても検討していただきたい。

〈休憩〉

議事再開（午後 1 時 0 0 分）

●基本方針 5 特別支援教育の推進

田北学校教育課長 点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明
櫻井教育サポート
センター所長

奥村教育委員 教職員が必要に応じて情報提供できるよう、関係機関との連携を強化したとのことだが、誰に対して、どのような情報提供を行ったのか。

森田学校教育課教育支援係指導主事 今年度開催した研修会には、熊本県南部発達障がい者支援センターわらつや、熊本県地域療育センターに参加してもらい、連携をより密にする機会となった。

渡邊教育委員 特別支援教育の推進に関しては、精一杯頑張っていたいていると認識しているが、B評価となっている。教育サポートセンターでは、特別支援教育アドバイザーが1名欠員の状況にもかかわらず、数多くの相談に対し、助言・アドバイスをされている。どのような状況になれば、A評価とできるのか、かなり謙遜されているように感じる。

櫻井教育サポートセンター所長 特別支援教育アドバイザーについては、年間約1,400件の相談を受けられ、精一杯頑張っておられる。今年度からは欠員も解除され、2名で話し合いながら、よく対応していただいている。子供や保護者もとても元気づけられ、次のステップへ向かうなど、好事例も出ている。

北岡教育長 評価についてはA評価でもいいのではという意見が出たがどうか。

奥村教育委員 取組自体の評価はA評価に該当すると思う。

渡邊教育委員 学校教育課分も含めて、全てA評価でいいと思う。

中教育部長 担当課としては、学校や保護者の困り感をしっかり受け止めており、それが全ては解消できていないことからB評価としていると思われる。

●基本方針7 教職員の資質・指導力の向上

田北学校教育課長
櫻井教育サポート
センター所長 点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明

澤村教育委員 学校教育課、教育サポートセンターで様々な研修を企画実施されており、内容も非常に豊富で、先生方のニーズに沿った研修がなされているなど感じ、その成果も上がっているのではないかと思った。

勤務時間外在校等時間が月45時間以上の教職員の割合が年々減少傾向であるのに、子供たちと向き合う時間が増えたと思う教職員も減少していることに少しギャップがあると感じるが、実態把握はされているか。

また、教職員の人材不足等、改善を要する内容があるため、ICT機器を効果的に活用していくとのことだが、具体的な活用方法を伺いたい。

さらに、「学校における働き方改革アクションプラン」と「働き方改革事例集」はどういったものになるか。

星田学校教育課指導主事兼保健体育係長 子供たちと向き合う時間が増えたと思う教職員数については、昨年度（令和3年度）と比較した場合のアンケート結果となっている。令和元年度末から令和2年度にかけて、コロナ禍による休校等が増えたことにより、教職員の勤務時間については減少していた。その後、令和4年度に入ると、コロナ禍も落ち着き、少しずつ学校教育活動が戻ってきたが、教職員の人材不足も相まって、負担を感じる方が多くなったと分析している。比較対象を昨年度とするアンケートについては、今後、実施方法を検討する必要があると考えている。

「学校における働き方改革アクションプラン」とは、教職員の働き方改革に向けて短期・中期・長期的に取り組む指標を示したもので、「働き方改革事例集」は、各学校あるいは個人での取組についてアンケートを実施し、内容を整理したものとな

っており、教職員向けグループウェアミライム上に掲載し、活用いただいている。今後も継続して取り組んでいきたい。

黒木学校教育課指導主事兼指導係長

I C T機器の活用については、教育政策課 I C T教育推進係と連携し、スタディサプリやeライブラリー等の学習支援ツールを活用している。これまでは、紙を印刷し配布していたが、今は、タブレット上での学習や宿題の配布、提出等もできるので、教職員一人一人の業務量削減に繋がっている。

奥村教育委員

教職員の人材育成において、ベテラン教師から若手教師への助言やアドバイスなどのO J Tを推進するとのことだが、そういった教師同士の教え合い、学び合いの機会について、教育委員会としてどのように現状把握しているか。

田北学校教育課長

複数の学級がある学校については、採用3年以内の若手教師とベテラン教師を隣の学級に配置することで、普段から連携を取りながら、ベテラン教師が若手教師に助言、アドバイスができるようにしている。大規模校については、毎年、複数の初任者が配置されるため、基本的にベテラン教師とペアを組める体制を取っている。

逆に、校内研修だけでは不足するI C T研修等については、それを得意とする若手教師のほうからベテラン教師に声をかけ、研修を行うこともある。校内研修の時間には限りがあるため、各学校において、様々な工夫をしながら適正に進めている。

奥村教育委員

現在の小学6年生は、ほとんど毎日が6時間授業だと思うが、帰りの会終了後は、すぐに下校時刻の午後4時30分になるだろう。教職員の退勤時間が、午後4時50分頃だとすると、子供と向き合う時間は20分程度しかないことになる。これは、学校と言うより制度全体の課題だと思うが、そういった中でも、何か工夫をされている学校の情報があれば教えてほしい。

田北学校教育課長

朝自習の時間をカットし1時間目の始業時間を早める等、午後4時までには子供たちを下校させている学校もだいぶ出てきた。そうすることで、放課後の時間に余裕ができ、教材研究や学力補充が必要な子供たちへの対応も可能となってきた。また、月1回程度、授業のコマ数減らすことで家庭での時間を確保するなどの取組を始める学校もある。

働き方改革と併せて、子供たちと向き合う時間の確保について

でも、各学校で工夫されている。

●基本方針10 学校・家庭・地域の連携・協働

高崎生涯学習課長 点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明
田北学校教育課長

奥村教育委員 地域学校協働活動事業において、地域未来塾が9校で実施されているが、以前、この地域未来塾も不登校児童生徒に特化して取り組んでいきたいとの説明があったように記憶している。不登校問題は、重要課題であり、未然防止の観点から、この地域未来塾が設置運営されるのであれば、今後全ての中学校に設置できるよう、支援、アドバイス、予算獲得等に取り組んでいただきたい。

早田教育委員 コミュニティスクールについて、令和4年度末までに未設置であった学校はどこか。

高崎生涯学習課長 松高小学校、千丁小学校及び千丁中学校の3校。松高小学校は単独、千丁は小学校及び中学校で1つのコミュニティスクールを、今年度設置完了している。

●基本方針11 家庭における教育力の向上

高崎生涯学習課長 点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明
櫻井教育サポート
センター所長

早田教育委員 令和4年度に開催した研修会について、オンデマンド研修会としたため、参加人数の把握ができなかったとあるが、録画の再生回数や参加申し込み数による把握はできなかったのか。

高崎生涯学習課長 再生回数をはっきり把握できる状況とはなっていなかった。今後は、オンデマンド開催とする場合は、しっかり数値が把握できるようにしていきたい。

奥村教育委員 家庭教育学級を重要視しておられるが、それだけではなく、総合的な家庭支援の制度を構築して欲しい。学校の問題としては、子供の学力問題、不登校問題の次に、保護者の不安感が大きなものとしてあると思うので、その不安解消のための

対策を関係各課と連携して進めていただきたい。

●基本方針12 地域における教育力の向上

高崎生涯学習課長 点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明

早田教育委員 先日開催されたアウトドアスクールに息子が参加したが、とても楽しかったと言っていた。学校ではできないことが体験できるという貴重な機会だったので、もっと回数を増やし、いろいろなことをやってほしいと思った。今回の評価はB評価となっているが、来年はS評価・A評価となるような取組をしていただけるとありがたい。

渡邊教育委員 まなびフェスタの実施については、非常に大変だと思うが、地域における教育力の向上という、大きな基本方針の中で、1つのイベントが占める割合がとても大きく感じる。

高崎生涯学習課長 今回の教育振興基本計画のなかでは、まなびフェスタに特化した指標項目となっているが、もちろん、他にも様々な事業を行っている。今後は指標項目の検討も必要と考えている。

奥村教育委員 地域の婦人会が減少していると聞く。学校にとっては、この婦人会はとても力になっている。婦人会・子ども会連合会・PTAの社会教育3団体のうち、婦人会と子ども会連合会が下火になってきているなか、今後、当該団体を応援することが、地域の教育力を高めることに繋がるという部分について、論議はされているか。

高崎生涯学習課長 婦人会、子ども会連合会については、会員数もかなり減少している。婦人会は、7校区、約1,400名、子ども会連合会については、本市の子ども会連合会に加入されているのは、鏡と千丁のみとなっている。本市の関連団体に対しては、補助金等を交付しながら、予算面から活動支援を行っており、特に婦人会とは協力体制を取りながら、社会教育を進めているところである。今後は、各組織において、未加入の校区に加入してもらえるよう支援していきたいと考えているものの、その方策には行き着いていない。

渡邊教育委員 将来的には、基本方針11と基本方針12を合体して、「家庭における教育力の向上」としてもよいのではと思った。

●基本方針13 生涯を通じた学習活動の推進

- 高崎生涯学習課長 点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明
- 渡邊教育委員 社会教育主事の資格を有する職員が増えていくとありがたい。資格取得時のサービスや費用面で、何か配慮はされているか。
- 高崎生涯学習課長 業務の一環として講習を受講しているため、費用については予算により対応している。
- 奥村教育委員 非常に好評だと聞いたアウトドアスクールについては、残念なことに、開催回数や参加人数に制限があるとのことだが、今後はさらに広がりを見せていただきたいと思うが、運営は大変なのだろうか。
- 高崎生涯学習課長 アウトドアスクールは、今年は、1班5～6名体制で6班に分け、そこに熊本高等専門学校ボランティア学生にも参加をしてもらい、さらに1日5～10名の職員がサポートする状況であるため、かなりの人員を必要としている。
- 澤村教育委員 学校教育と並んで、生涯教育は人生を充実させるために、とても大事であると思う。様々な行事をされているなか、特にA評価とされているやつしろ市民大学や公民館講座については、市民のニーズに応え開設しているとのことだが、その市民ニーズの把握はどのように行っているのか。
- 高崎生涯学習課長 毎回、講座開催時にアンケートを実施している。主に講座に参加された方からのご意見という形になるが、希望する講座の内容や日程、時間等も参考にしている。講座によっては、定員をかなり超えるようなものもあるので、そのような人気講座は継続して実施するようにしている。
- 田中教育部次長 補足になるが、令和3年度には市民アンケートも実施した。デジタルを活用しながら、数年おきに実施している。
- 澤村教育委員 幅広い年齢層の市民ニーズを把握することは非常に難しいと思うが、本市が、様々な世代が、様々な場所で学ぶことができる市になれば、住んでいてよかったと誇りに思えるので、この機会を継続して行ってほしいと思う。

高崎生涯学習課長 現在実施している講座については、八代市公民館で実施することが多いが、各校区コミュニティセンターで実施するおでかけ公民館講座については、いろいろな地域を回ることもできるよう、工夫している。

北岡教育長 時代とともに、市民ニーズも変化しており、学びたいことがたくさんあるので、是非、いろいろなアイデアを出しながらやっていただきたい。

●基本方針14 人を育む図書館づくりの推進

高崎生涯学習課長 点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明

奥村教育委員 今後、すべての市民の読書活動の推進を図っていくとのことで、とても安心した。先日の全国学力調査における質問紙調査のなかで、新聞を読む子供は成績が良いとの結果が出ていた。新聞を読むことで長文に慣れているため、難解な国語の問題にも抵抗なく読み進めていけるのではないかと思うので、読書したくなる、読書しやすい環境づくりをお願いする。

また、移動図書館についても、遠隔地に住む子供たちも、珍しさから手を出しやすいと思う。手を出すことがきっかけとなり、文章を読むことに繋がればいいと感じた。

澤村教育委員 個人的に図書館をよく利用するが、デジタル化、IT化が進み、館内の様子も時代に応じて変わってきたなと感じている。職員もその変化に対応したり、外国人利用者への対応等、大変な部分もあると思うが、どこの図書館でも、職員には親切丁寧に対応いただいております、ありがたいと思う。図書館は、幅広い人が利用する、とても大切ないい文化的施設だと思う。

奥村教育委員 電子図書利用者は大人が多いか。

高崎生涯学習課長 利用者のほとんどは、小中学生である。GIGAスクールで1人1台タブレット端末が配付されていることから、タブレット端末で電子図書が読めるようになった。昨年度は、コロナ臨時交付金を活用し、電子図書を増冊したことで、子供たちの身近なところで電子書籍を読むことができるようになったことも影響していると思う。

早田教育委員 比較するわけではないが、不知火図書館は、老若男女問わず、特に、小学生から高校生まで、子供の利用が多い。本を読んだり、室内で過ごすだけではなく、外で遊ぶスペースもあり、誰でも気軽に行きやすい、とてもいい雰囲気だと感じる。本市の図書館でも同じことをしてほしいというわけではないが、もっと誰でも気軽に行きやすい雰囲気が作り出せないかなと思っている。

中教育部長 先週、千丁校区で実施された市政懇談会のなかでも、同様の話があった。佐賀県武雄市も、思い切ったコンセプトを打ち出し、改修をしたり運営を民間に委託されたりと、各自治体がいろいろな工夫をされている。

本市の図書館は、築38年が経ち、ハード面の整備においては、なかなか難しい部分もあるため、すぐに結論は出ないが、子供、保護者ともに気軽に楽しめ、また落ち着いて過ごせる空間づくりについては考えていかなければならないと思っている。

北岡教育長 現存する施設のなかで、入りやすさや親しみやすさの工夫をしていかなければならないと思うので、よろしく願います。

〈休憩〉

議事再開（午後2時37分）

●基本方針16 社会教育施設の整備

高崎生涯学習課長 点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明
上角博物館未来の
森ミュージアム副
館長

奥村教育委員 博物館施設の整備については、着実に計画通りに進めておられるので、A評価でよいのではないかなと思う。もし、うまくいかない部分があるのであれば、それは博物館の課題なのか、それとも予算面も含めた全体の課題なのか。それを考えると、この政策評価は難しいなと感じている。

上角博物館未来の 令和4年度の博物館施設整備については、前倒しで進んでいる
森ミュージアム副 ということではなく、計画通りに進められたということでB

館長 評価としている。工事については、これから本格的に始まることとなっている。

奥村教育委員 今回の改修によって、どのような人たちが来館すると、理想の博物館になると考えているか。

上角博物館未来の森ミュージアム副館長 今回は、機械設備等の老朽化による改修となっているため、博物館の役割等を見直す意味での改修ではない。数年後には付帯調査も行われるので、結果を見て更に計画していくことになる。

奥村教育委員 自然な環境の一部として、博物館や図書館、音楽関係ホールというベースを拡充し、学校と地域の施設との繋がりを持つことで、学校教育が豊かになっていくと思うので、これからも、施設整備等に頑張っていただきたい。

北岡教育長 いろいろな施設がある環境に、幼少期から触れ経験することは、子供の成長に大きな違いが出てくるだろうと期待している。博物館においては、子供たちに来館してもらえるよう、特別展覧会では工夫しながらやっていただいている。

●基本方針18 災害からの復興推進・教訓の継承

下津教育政策課長
田北学校教育課長
稲本教育部理事兼
教育施設課長
高崎生涯学習課長
上角博物館未来の
森ミュージアム副
館長
松下文化振興課長
補佐

点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明

奥村教育委員 防災教室等の取組が進んでいない学校については、どういう部分が困難であるのか、具体例をお聞かせいただきたい。

また、博物館で行っている学校への出前講座や教職員研修において、災害の歴史を紹介したとのことだが、パンフレットやリーフレット等として教材化しているのか。

星田学校教育課指導主事兼保健体育係長

取組が進んでいない学校については、教育課程において、カリキュラム上、防災教育の時間が入っていないことから、総合学習の時間や学級活動のなかで取り組まれている。取組が進んでいる学校については、避難訓練と合わせて防災教育を行われている。

様々な防災教育プログラムの情報提供や、取組が進んでいる学校の事例を紹介することで、学校側から積極的に取り組まれるよう計画している。

山崎博物館未来の森ミュージアム副館長補佐

防災教育の教材については、より広く周知できるよう、広報については、もっと工夫したいと考えている。

奥村教育委員

今後、資料化されることを望む。

渡邊教育委員

この基本方針については、教育部全課かいで予算措置及び取組を推進されていることを有難く思う。

サーバーについては、クラウド環境への移行を検討していくとのことだが、難しいハードルとなるものはあるか。

緒方教育政策課主幹兼ICT教育推進係長

サーバーを準備する上で、予算確保の問題は出てくると思う。

澤村教育委員

ネットワークサーバーやクラウド環境への移行により、浸水対策は万全であると捉えてよいか。

緒方教育政策課主幹兼ICT教育推進係長

クラウドサーバーに関しては、本庁6階のサーバー室を考えている。

早田教育委員

この基本方針18については、タイトル、内容、今後の課題等も全て、これでいいと考えておられるのか。教訓の継承は、いつの災害のことを指しているのか。何百年も前の過去の災害のことなのか、それとも3年前の豪雨災害の教訓を継承されたいのか。3年前の豪雨災害を経験して、そこからどのように子供たちの命を守っていくかを考える上で、はっきり言って危機感が足りないと感じる。

他の地域と比較して、本市は風水害に対して、安全なところ自体が少ない地域だと思っている。高潮に関しては、3階建て

以上の建物への避難を要する地域もあるなか、該当する建物がないところもある。

最近では、堤防が決壊する災害もあることを踏まえ、球磨川の氾濫についても同様に想定し、自分たちがどう行動すべきかを考えていかなければならない。このことに関して、市民はもとより、行政職員の意識も低いと感じる。市民意識を変えるためには、まずは行政職員の意識が変わる必要があるので、もう少し、具体的な目標を立てて実践していただきたい。マイタイムラインの作成は、みんなが防災に触れることへのスタートであるので、今後、関係機関と連携して作成するプログラム等については、スピード感を持って学校に展開して行ってほしい。

八竜小学校や坂本中学校における防災教育やマイタイムラインの作成に私自身関わったが、仕事としてではなく、被災した学校だからこそ、次に災害が起こった時は自分で命を守ってほしいとの思いからボランティアでさせていただいた。マイタイムラインの作成を最終目標とするのではなく、その先、学校や生徒、地域の中で継続して取り組んでほしい。そういったところも含めて、この基本方針18の内容については、もう一度再考していただきたいと思う。

奥村教育委員

マイタイムラインの作成に関しては、家庭、地域での共有が必要だと思うが、子供だけで作成するのか。それとも保護者も一緒なのか。

また、この基本方針18に関係する課かいの横の繋がりを総合的に網羅する資料があればよいと思う。

早田教育委員

マイタイムラインについては、最終的には家庭に持ち帰り共有している。保護者も一緒に作成する学校もあるので、やり方は各学校で異なっている。

●基本方針15 文化継承と創造に貢献する博物館づくり

上角博物館未来の
森ミュージアム副
館長

点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明

奥村教育委員

松井文庫所蔵古文書調査事業では、令和4年度末現在において、多くの調査、解読等をされていて、学芸員のみなさんは凄いと思う。学芸員のみなさんの活動に触れることで、感激する子供たちもいると思うので、そういうPR活動もしていただ

きたいと感じた。子供たちが、大人の口から解説を聞きながら学ぶことはとてもよいし、またそのことで大人の学びもさらに深まると思う。そういった循環型の博物館の利活用にこれからも期待する。

北岡教育長 昨年度の来館者数を教えていただきたい。

久保博物館未来の
森ミュージアム主
幹兼管理係長 入館者総数は23,979名で、そのうち中学生以下が6,225名となっており、約4人に1人は中学生以下であった。

奥村教育委員 日奈久・二見・東陽・泉地域の子供たちは、入館料が特別免除になるなど、遠方の子供たちが来館しやすい環境ができればいいと思う。本市の全ての子供たちが、博物館に関われるようになったらいいと思っている。

〈秘密会〉

〈報告第15号〉 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

〈秘密会につき、会議内容は省略〉

6. 会議録署名委員
の指名 奥村委員・早田委員

7. 閉会 (午後4時19分 閉会)

令和 年 月 日

署名委員

記録者
